

## 【開催レポート】5/22 障害者・障害当事者家族・高齢者・子育て家族 114名が集結 みんなで一緒に「誰もがおでかけを楽しむ日常」を考える ユニバーサルツーリズムシンポジウム『旅は道づれ 余話のたね』開催

外出に制限を感じている誰もがおでかけしやすい社会を目指すMinQプロジェクトは、5月22日にSCC千駄ヶ谷コミュニティセンターにて、ユニバーサルツーリズムシンポジウム「旅は道づれ 余話のたね」を開催しました。車いすユーザーや視覚障害者、聴覚障害者など何かしら障害のある方、高齢者、お子さん連れの方、障害当事者家族などの「外出することに制限を感じている方」や健常者、行政職員、企業など総勢114名が集まり「おでかけ」について一緒に考える時間となりました。今回のシンポジウムでは交流時間を多く設けることで参加者同士が繋がり、「おでかけ」する仲間になっていったらいいなという思いも込めております。「外出に制限を感じる方」「外出に制限を感じない方」の橋渡しとなったシンポジウムの様子をお伝えいたします。



初対面同士、一緒におでかけ企画を考えるワークの時間



SCC千駄ヶ谷コミュニティセンターに114名が集結



第1部～3部まで参加者の笑顔で溢れた時間

### 第1部・2部・3部と障害者や当事者家族、企業、行政など様々な登壇者のトークセッション



#### 第1部「車いすのあの子ども一緒に！夏のおでかけ作戦会議」

車いすインフルエンサー中嶋涼子さんと一緒に行けるおでかけ企画を来場者参加型のワークショップ形式で考えました。MVPのグループの企画はMinQで実現します。

MVPに選ばれた企画：長野県でプライベート祭り、プライベート花火



#### 第2部「ユニバーサルツーリズム？インクルーシブ？難しいことを面白く伝える秘訣って何だろう？」

よく耳にするけれど、実はしっかり理解できていない言葉、難しいことと思われてしまうことをどう面白くわかりやすく伝えるかを、行政・企業・当事者家族・エンタメの各視点から探っていきました。

「小中学生でもわかるように伝える」ことが伝わる秘訣。



#### 第3部「見えるだけがすべてじゃない！視覚障害者の旅」

全盲のぐっちさんこと谷口真大さんに旅についてや、日常についてお話を伺いました。「地域によって匂いがある」というお話に皆さん驚かされていました。電車の路線図が大体頭に入っていることや、全盲の方だけが集まって離島に行くなど「できることだらけなのでは？」と思ってしまうほどの行動力に驚きの連続でした。

## ■次回：10月11日（土）昼頃 名古屋にて開催決定

詳細確定次第、情報提供させていただきます。

【お問い合わせ先】

MinQプロジェクト 広報担当 安田佳世

Mail:k.yasuda@tourism.forall.or.jp

TEL:080-4672-3362

MinQ WEBサイト



### ■健常者・男性（50代）

小学生に伝わるように説明することや、左脳を使わずアホになること、「行きあたりバッチリ」など多くの学びがありました。また参加者企画者の方々とオープンマインドな雰囲気での交流ができ楽しかったです。

### ■健常者・女性（30代）

自分が旅行好きで47都道府県全制覇などしていますが、障がい者のかたの旅行やお出掛け事情などを考えたことがなく、きっかけになると思ったので参加しました。

### ■子育て中・女性（40代）

お出掛けに困難を抱えている方々が、思ったより何でもできることを知って驚きました。「やりたい」を叶えるために「どうしたらできるか」を考える、というシンプルな考え方は、困難を抱えていてもいなくても、みんな同じなんだな、と気付きました。車椅子ユーザーの息子さんがいる友だちと、一緒にお出掛けしてみたいな、と思いました。

### ■障害当事者家族・女性（40代）

車椅子ユーザーの好奇心旺盛な息子（知的障害もあり）がおり、夢は旅人。空を飛びたいと。自分のことは、障害者とは思っていません。息子のやってみたいことは叶えたい。お友達と同じようにやってみたいこともある。でもリアルに、修学旅行等、学校行事で困ることもあり…何かヒントはないかなと思って参加しました。

### ■精神に障害がある・男性（20代）

今まで思いもしなかった視点を色々知ることができてとても楽しかったです。特に東京と大阪の匂いの違いの話や、個人的に聞かせて頂いた手話の話で、手話は表情も大事で、滑舌のようなものといった話がとても印象的でした。手話を覚えて色々な方と話してみたいと思ったのでこれから手話の勉強をしようと思います。

### ■身体に障害がある・男性（50代）

障がい者も健常者とどう旅行を楽しむか、その他人としてお互いの楽しみ方を知りたいかった。知らないことが知ることができました。



## シンポジウムキャスティング



【メインMC】  
**古谷健太 (こやけんた)**  
 徳島県を拠点に活動するお笑い芸人。  
 NSC東京19期。  
 2019年に吉本興業を退社し、  
 現在は「こや企画」という個人事務所で  
 徳島県を拠点に東京や大阪でも活動している。



【手話通訳】  
**ケーマ トーマ**  
 ケーマとトーマの手話通訳コンビ。  
 イベントやライブ、お笑いや映画、  
 TVなどで手話を広めるため国内外で活動中。  
 2024年放送土曜ドラマ「% (パーセント)」  
 に手話通訳者役として出演。



【ブース出展】  
**福祉事業所「領家グリーンゲイブルズ」**  
 埼玉県上尾市にあるNPO法人みのりが運営。視覚障害当事者が聴覚や集中力を最大限に活かしコーヒー豆が弾ける音聞き分けて焙煎している。



【登壇者】  
**水谷暢宏 (みずたにのぶひろ)**  
 元吉本クリエイティブエージェンシー社長  
 おもしろ情報発信を学ぶ「広報のがっこう」校長  
 おもしろエンジェルリスト、アーティスト支援協会代表、サーカス学会理事



【登壇者】  
**中嶋涼子 (なかじまりょうこ)**  
 1986年東京都生まれ。9歳で突然歩けなくなり、「横断性脊髄炎」と診断され車椅子生活に。テレビ出演やYouTube、講演などを通じ、「障害者の常識をぶち壊す」ことを目指し、日本社会と人々の心のバリアフリーを発信し続けている。



【登壇者】  
**加藤さくら (かとうさくら)**  
 次女に重度の障害があることを機に、障害がある子が生まれても誰も絶望を継続しなくていい世の中にするため、食・リハビリ・遊び・アート関連のプロジェクトを複数推進中。



【登壇者】  
**牛山玲子 (うしやまれいこ)**  
 2016年に二度の脳梗塞を発症ユニバーサルツーリズムと出会い、「観光×医療×福祉」を推進している。障がい者、高齢要介護者など「旅弱者」をケアする人的サポートを実践している。



【登壇者】  
**井田幸男 (いだゆきお)**  
 コクヨ株式会社サステナビリティ推進室理事  
 経営&従業員&事業プロセスの全てが同時にクリエイティブにサステナビリティ活動を実践し、新たな組織能力を獲得できることを目指し奮闘中。



【登壇者】  
**谷口真大 (たにぐちまさひろ)**  
 2歳の時に小児がんのため失明し、全盲に。現在は暗闇のソーシャルエンターテインメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」にてアテンドとして活躍中。視覚障害者ならではの子育ての工夫や日常をnoteやYouTubeで発信中。



【登壇者】  
**寺田ユースケ (てらだゆうすけ)**  
 株式会社HELPUSH代表取締役  
 車椅子インフルエンサー「寺田家TV」  
 先天性の脳性まひにより首から下が不自由。現在は家族で長野県に移住し、ユニバーサルツーリズムの普及を目指す「MinQプロジェクト」を推進。5月より長野県広報パートナーに就任。



【登壇者】  
**田坂克郎 (たさかよしろう)**  
 渋谷区グローバル拠点都市アドバイザー／シブヤスタートアップ株式会社アドバイザー  
 在サンフランシスコ日本領事館で8年半の業務を経て、2016年に帰国。2020年、渋谷区に入庁、グローバル拠点都市推進課を立ち上げ、様々な活動を行ってきた。

## シンポジウム協賛企業



【協賛企業】  
**阿智 屋神観光局**  
 長野県阿智村は、長野県南部の山間に位置する星空が美しい村。環境省による「星が最も輝いて見える場所」第1位に認定され、日本一の星空と称されている。星空以外の自然も豊かで、花桃の里としても知られている。



公益財団法人  
**日本ケアフィット共有機構**  
 そっと、さっと、あんしんを。

【協賛企業】  
**公益財団法人日本ケアフィット共有機構**  
 超高齢社会におけるバリアフリーやユニバーサルデザインなど共生施策、DE&I、認知症バリアフリー、インクルーシブ防災の推進など、広く共生社会の実現に向けた活動を行っている。多様な人との良好な関係を築くための資格「サービス助手士」は23万人を超え、人々の暮らしやすさに寄与している。

【お問い合わせ先】  
 MinQプロジェクト 広報担当 安田佳世  
 Mail:k.yasuda@tourism.forall.or.jp

TEL:080-4672-3362

MinQ WEBサイト

